

「心を磨く」という言葉を、よく見聞きします。

私も、使うことが多いです。心を磨くために、皆さんは、どのような工夫や心がけをされていますか。私は1つの方法として、良書に触れることを大切にしています。

そこで最近、山崎武也氏の著「一流の人の心の磨き方」を拝読して見ました。すると、この本の中に「和敬清寂」という言葉に出会いました。これは、利休の茶道精神を要約したものとして、茶道の理解にも大いに役立っているとのこと。

「和敬清寂」という生き方、人生の指針として捉えられています。

「和」・・・世の中におけるすべてのものやことについて、調和を図っていくこと。

「敬」・・・相手を尊んで大切にすること。

「清」・・・自分の周りにある森羅万象について清らかさを徹底すること。

「寂」・・・落ち着いていて物に少しも動じないこと。

日々の生活において、和敬清寂を意識しながら、自分の中にある自分軸をよりよいものとして高め、高めた思考判断を、子どもたちにも適時適切に還元してあげられるよう努めて行きたいです。